

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 25日

事業所名 まなviva

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		机・いす・棚等の配置を工夫。
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		子供の人数、年齢等を考慮に入れた上で職員の配置を決定している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		活動場所はすべて一階に設けている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		<input type="radio"/>	業務改善についての目標は明確化が必要。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者からの意見を職員に共有している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		ホームページでは、自己評価の結果を公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	昨年度から保護者の方にアンケートを実施し、業務改善に取り組んでいる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		研修のお知らせについては、職員全員に共有している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		計画を作成する時間の確保が必要。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		標準化されたアセスメントツールを周知する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		週末の活動については職員で様々なイベントを企画している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		平日の活動は比較的固定しているが、週末は多彩な活動を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		長期休暇に関しては、課題を設定しきれていなかった。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		活動中の子供の様子からその子供に合った個別支援計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		毎回打ち合わせできる時間を確保したい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		毎日支援開始前と終了後にミーティングを行い情報を共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		記録漏れがないように記録することを徹底している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		半年に一度見直しを行うようにしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>		複数組み合わせ合わせて支援を行っている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		基本的に管理者が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		学校との連携が取れているケースととれていないケースがある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>		現在該当する児童が来所していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>		支援会議等参加し、情報共有等に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<input type="radio"/>		支援会議で共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		様々な機関から助言をいただいたり、研修を行っていただいている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>		地域の児童館や公園を利用して、障がいのない子供たちとの交流の機会を設けている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>		積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		連絡帳や送迎時に情報共有したりしている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>		定期的に行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		保護者からの要望がある場合、助言と支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>		支援している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		苦情をいただいたその日中に解決するようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		会報等は発行していないが、メールで活動内容について連絡している。
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>		利用者が増加すれば引き出し付きの棚があれば管理しやすい。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>		年に数回地域のイベント等に出演している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>	作成は行っているが、周知できているかは不明。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	今後実施する予定になっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>	研修に参加できる環境を作っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>	該当する児童が来所していない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>	保護者を通して行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>	作成して共有できるように保管している。

表)

課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
今後も人数、状況等を的確に把握し、適切なスペース確保に努める。
今後も子供の年齢等を考慮して、十分に支援ができるよう職員を配置する。
現在大きな問題はないが、今後設備整備に関して問題が生じた際には迅速に改善する。
職員全体で業務の改善に取り組めるよう環境設定を行う。
保護者からの意見を共有し、具体的な改善策について考える。
今後、会報等を制作した際には公開する。
頂いた意見を真摯に受け止め、職員に共有し、業務改善に取り組む。
昨年と比べ、研修に参加する職員も増えたので、今後も研修のお知らせを共有していきたい。
個別支援計画作成の際、その子供に関わっている職員からの情報や意見も十分に取入れ、作成する。
管理者以外は知らなかったので、職員に周知していく。
現在様々な活動を行うことができ、今後も継続していきたい。
今後も様々な活動を企画していく。
長期休暇の際の課題も設定し、振り返りを行うようにする。
個別支援か集団支援どちらが必要か、また両方必要なのかの見極めをしっかりと行う。
引き続きミーティングで共有した情報をもとに支援を行う。
支援上の留意点等を共有することで、適切な支援を継続していく。
引き続き、記録を残し、支援に活かしていく。
見直しの機会を増やし、より多くの職員から意見をもらえるようにする。
引き続き継続していく。

引き続き継続していく。
今後はより密に連携を取り、支援に活かせるよう努める。
現在該当する児童が来所していない。
引き続き継続していく。
就労に関して悩みを持つ保護者の方が多いので、できる限り多くの情報を共有できるようにする。
引き続き連携を図り、支援の向上を目指す。
交流する機会をより多く設けられるように努める
引き続き参加していく。
支援を行う上で、ご家族のとの共通理解は必須であり、今後もより一層密にしていく。
今後は、ペアレント・トレーニングの機会をより多く設けられるようにする。
契約時に丁寧な説明を行うとともに、変更等があった場合にはお知らせするようにする。
今後もの確かつ迅速に対応できるよう努める。
障がいのある子を持つ親の会「ゆうきっこクラブ」等との連携、ペアトレのフォローアップを定期的に行っている。
今後もの確かつ迅速に対応できるよう努める。
今後は会報等も製作できるよう努める。
個人情報の管理は鍵付きの保管場所に収納するよう徹底する。
引き続き配慮を続ける。
今後はより多くの地域に根差した活動に参加できるよう努める。

今後は様々な方法で周知してもらおう努める。

今後実施する。

より多くの職員に研修に参加してもらうために環境を整える。

該当する児童が来所していない。

アレルギーの確認を徹底する。

職員に確認してもらい、同様のことが起きないように配慮する。